

### (3) 高等学校の結果

#### 【総合評価及び項目別得点による分析】(P16, 24)

- ① 目標得点以上 (○\*) の項目数の割合は、男子が87.5%、女子が95.8%であった。総合評価では、1, 2年生男子がB段階であった。女子はすべてC段階であるが、1, 2年生はB段階に限りなく近い値である。

|    | ○*の項目数 | 割合 (%) | ●の項目数 | 割合 (%) | 総合評価B以上の学年 |
|----|--------|--------|-------|--------|------------|
| 男子 | 21     | 87.5   | 3     | 12.5   | 2, 3年生     |
| 女子 | 23     | 95.8   | 1     | 4.2    | なし         |

(※持久走除く)

- ② 「上体起こし」「反復横とび」は、男女すべての学年が目標値を上回った。

|      | 良好な項目 (目標値以上)                   | 課題のある項目           |
|------|---------------------------------|-------------------|
| 1年男子 | 上体起こし・反復横跳び・20m シャトルラン          | 立ち幅跳び・ボール投げ       |
| 2年男子 | 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20m シャトルラン | 立ち幅跳び・ボール投げ       |
| 3年男子 | 上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20m シャトルラン    | 握力・立ち幅跳び・ボール投げ    |
| 1年女子 | 握力・上体起こし・反復横跳び・20m シャトルラン       | 長座体前屈・立ち幅跳び・ボール投げ |
| 2年女子 | 握力・上体起こし・反復横跳び・20m シャトルラン・      | ボール投げ             |
| 3年女子 | 上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20m シャトルラン・   | 握力・立ち幅跳び・ボール投げ    |

- ③ 総合評価による体力水準は、男子は発達に伴い上位層 (A+B) が増加し、下位層 (D+E) が減少している。女子においては、3学年とも上位層の (A+B) の割合がほぼ50%程度であり良い傾向であるが、下位層の (D+E) 割合が加齢に伴い増加している。

|    |        | 1年   | 2年   | 3年   |
|----|--------|------|------|------|
| 男子 | A+B 段階 | 48.3 | 59.5 | 62.9 |
|    | D+E 段階 | 15.6 | 12.0 | 12.2 |
| 女子 | A+B 段階 | 52.0 | 52.0 | 48.9 |
|    | D+E 段階 | 15.0 | 15.5 | 20.3 |

#### 【前年度 (県) との比較】(P16)

前年度平均値を上回った項目数は、男女共に大幅に減少した。1, 2年生男子が「握力」、1, 3年生女子が「反復横とび」「立ち幅とび」において、前年度を上回っている。

全体の項目数 27 項目 (9 項目 × 3 学年)

※表中 ( ) は前年度のもの

|    | 前年度平均値を上回った項目数 | 前年度平均値を下回った項目数 | 全ての学年で前年度を上回った項目     | 全ての学年で前年度を下回った項目 |
|----|----------------|----------------|----------------------|------------------|
| 男子 | 10 (5)         | 22 (10)        | 長座体前屈                | 握力・上体起こし         |
| 女子 | 9 (6)          | 18 (20)        | 握力・上体起こし・反復横跳び・立ち幅跳び | なし               |

#### 【新体力テスト移行後の推移 (16 歳男女)】(P33)

男女ともに「上体起こし」「反復横とび」については向上傾向であるが、男子の「握力」「ボール投げ」については、下降傾向である。男子の「50m走」においては、昨年度を除き、平成24年度以降は横ばい状態である。「20mシャトルラン」については、男女ともに2年連続で記録が低下した。